

2025.11.27(木)ー12.7(日)

会場 東京都写真美術館1階ホール（恵比寿ガーデンプレイス内）
 定員 190名（全席指定「当日券のみ」／各回定員入替制）
 料金（当日1プログラム） 一般1,800円 学生および高校生以下1,000円
 ※「ペドロ・コスタ インナーヴィジョンズ」展覧会チケット提示（展覧会チケット1枚につき1回の割引）1,000円
 ご鑑賞当日午前10:00より、その日のすべての上映回についてチケットの販売を開始いたします。

総合開館30周年記念

ペドロ・コスタ インナーヴィジョンズ

特集上映

	11.27(木)	11.28(金)	11.29(土)	11.30(日)	12.2(火)	12.3(水)	12.4(木)	12.5(金)	12.6(土)	12.7(日)
10:30	1	5	9	1	11	7	10	3	7	9
13:00	3	7	10	3	2	8	11	6	5	11
15:30	4	6★	2	8★	1	9	4	2★	10★	8

★上映終了後にアフタートークの予定あり

立ち見不可。開場は各上映開始時間の10分前を予定しています。
協力：アテネ・フランセ文化センター、アイ・ヴィー・シー

上映アフタートーク

11.28(金) 15:30の回

アンディ・レクター（映画評論家、プログラマー）

*オンライン、英日通訳付き

11.30(日) 15:30の回

ペドロ・コスタ（出品作家）

*オンライン、英日通訳付き

12.5(金) 17:00の回

松田美緒（歌手）

12.6(土) 15:30の回

北小路隆志（映画評論家、京都芸術大学教授）

*ペドロ・コスタ インナーヴィジョンズ展関連事業・連携協力企画モデレーター（9.1[月]16:00- 京都芸術大学高原校舎「ペドロ・コスタ監督特別講義」を開催）

展覧会情報 総合開館30周年記念 ペドロ・コスタ インナーヴィジョンズ

2025.8.28(木)ー12.7(日)

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

後援：
 EMBAXADA DE PORTUGAL NO JAPÃO
 在日ポルトガル大使館
 J-WAVE 81.3FM

 CAMÕES CENTRO CULTURAL PORTUGUÊS PORTUGAL
 MINISTÉRIO DA CULTURA E PATRIMÓNIO

東京都写真美術館 地下1階展示室（恵比寿ガーデンプレイス内）

開館時間：10:00ー18:00（木・金は20:00まで） 休館日：毎週月曜日
 *8月28日ー9月26日までの木・金は21:00まで開館 *入館は閉館の30分前まで（月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日休館）
 観覧料：一般800(640)円／学生640(510)円／高校生・65歳以上400(320)円
 ()は有料入場者20名以上の団体料金。中学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)は無料。
 第3水曜日は65歳以上無料。

*事業は諸般の事情で変更することがございます。

東京都写真美術館
 TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

恵比寿
 恵比寿
 JR恵比寿駅 1番出口 TOP MUSEUM

JR 恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅1番出口より徒歩約10分。
 当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。
 〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
 Tel. 03-3280-0099 www.topmuseum.jp



2025.
 11.27(木)ー12.7(日)

会場 東京都写真美術館1階ホール
 （恵比寿ガーデンプレイス内）

TOP 30TH ANNIVERSARY PEDRO COSTA INNERVISIONS SPECIAL SCREENING

TOP 30TH ANNIVERSARY PEDRO COSTA INNERVISIONS SPECIAL SCREENING

東京都写真美術館では、総合開館30周年を記念して、ポルトガルを代表する映画監督ペドロ・コスタ(1959-)による展覧会、「ペドロ・コスタ インナーヴィジョンズ」を開催いたします。日本最大規模で東京では初めてとなる美術館での本個展にあわせて、美術館1階ホールにて、コスタ監督の初期作品から最新作まで主要作品を含む11プログラムを特別に上映します。コスタの映画世界への理解を一層深める貴重な機会となるでしょう。

※『ヴァンダの部屋』および『コロッサル・ユース』は、初公開時の35mm上映です。



『血』 4Kレストア版
英題: Blood 原題: O Sangue
ポルトガル/1989年/ポルトガル語/
モノクロ/DCP/99分
出演: ペドロ・エストネス、ヌーノ・フェレイラ、イネス・デ・メテイロス、ルイス・ミゲル・シントラ

青年ヴィンセントは病に苦しむ父親を安楽死させ、墓地に埋める。父親の消息に疑問を持った伯父は青年の許にやってきて弟を連れ去ってしまった。一方、父親の負債の返済を求めて二人組が現れる。弟を取り返すべく動く青年を二人組が追っていく……。ペドロ・コスタ長編第1作となる本作はフィルムノワールの風貌を見せつつ、瑞々しく輝く画面が観る者を魅了する。



『ヴァンダの部屋』
英題: In Vanda's Room
原題: No Quarto de Vanda
ポルトガル・ドイツ・スイス/2000年/
ポルトガル語・クレオール語/カラー/
35mm/178分
出演: ヴァンダ・ドゥアルテ、ジータ・ドゥアルテ、レナ・ドゥアルテ、アントニオ・セメド・モレノ、パウロ・ヌネス

数十人の規模の映画制作に疑問を持ったコスタは小型のDVカメラを手にフォンタイニャスに戻り、撮影を敢行。『骨』に出演したヴァンダ・ドゥアルテとその家族を中心に、再開発が進み、パワーショベルによる破壊が進む街に暮らす人々を見つめる。小津、溝口、フォードを想起させるスタンダードサイズの画面と、街に響く破壊音の対比が強烈な印象を残し、新たなドキュメンタリー表現として多くの映画作家に影響を与えた。



『溶岩の家』 4Kレストア版
原題: Casa de Lava
ポルトガル・フランス・ドイツ/1994年/
ポルトガル語・クレオール語/カラー/
DCP/110分
出演: イネス・デ・メテイロス、イザック・デ・パンコレ、エディット・スコブ

看護師のマリアーナは、リスボンの工事現場で意識不明となった男レオンに付き添って彼の故郷カーボ・ヴェルデに向かうが、病人とともに荒野に取り残される。島民に病院まで運んでもらうが島民の誰一人として病人のことは語ろうとしなかった……。 “カーボ・ヴェルデから届いた手紙” というペドロ・コスタの鍵となるモチーフが生まれるきっかけとなった重要作。伝説的な女優、エディット・スコブが特別出演している。



『あなたの微笑はどこに隠れたの?』
原題: Onde jaz o teu sorriso?
ポルトガル・フランス/2001年/フランス語/カラー/35mm/104分
出演: ジャン＝マリー・ストロフ、ダニエル・ユイレ

二人組の特異な映画作家であり夫婦でもあるジャン＝マリー・ストロフとダニエル・ユイレが、1999年秋のワークショップで行った『シチリア!』第3版の編集作業の様子を収録したドキュメンタリー。映画作家の創作のプロセスや瞬間だけでなく、ときに滑稽でさえあるストロフ＝ユイレ夫婦の物語や映画への愛が、膨大な議論や感情のやりとりを通じて描かれる。



『骨』 4Kレストア版
原題: Ossos
ポルトガル・フランス・ドイツ/1997年/
ポルトガル語/カラー/DCP/98分
出演: ヴァンダ・ドゥアルテ、ヌーノ・ヴァス、マリア・リブキナ、イザベル・ルート、イネス・デ・メテイロス

赤ん坊を産んだティナはリスボン郊外にあるスラム街に戻ってくるが、夫は赤ん坊を連れて家を出て行ってしまふ。彼は物乞いをし、看護婦のエドゥアルダと知り合い、彼女の家に居候するようになる。ティナの隣人クロチルドは家政婦をしているが、ある日エドゥアルダの家でティナの夫に出会う。スラム街フォンタイニャスに住む人々を起用し、圧倒的なリアリズムで底辺の生活の厳しさを描き、高く評価された。『ヴァンダの部屋』のヴァンダも家政婦役で出演。



『コロッサル・ユース』
英題: Colossal Youth
原題: Juventude em marcha
ポルトガル・フランス・スイス/2006年/
ポルトガル語・クレオール語/カラー/
35mm/155分
出演: ヴェントゥーラ、ヴァンダ・ドゥアルテ、ベアトリズ・ドゥアルテ、イザベル・カルドーゾ

『ヴァンダの部屋』のスラム街は取り壊されて、ヴァンダは新しい集合住宅に移り住んで夫と子どもと暮らす。カーボ・ヴェルデから移り住み34年間、フォンタイニャス地区に住んできたヴェントゥーラ。妻に去られた後、まだ残るスラム街と新築住宅を行き来し“子どもたち”を訪ねる。過去と現在を縦横無尽に交錯させながら、彷徨える魂を描き出す。ヴェントゥーラが繰り返し口ずさむ手紙が感動を呼ぶ。



『何も変えてはならない』
原題: Ne change rien
ポルトガル・フランス/2009年/フランス語/モノクロ/35mm/103分
出演: ジャンヌ・バリバール、ロドルフ・ビュルジェ

『そして僕は恋をする』(アルノー・デブレシャン)や『恋ごころ』(ジャック・リヴェット)などに主演し、フランス映画作家たちのミューズとして知られるジャンヌ・バリバール。彼女の歌手としての活動を、リハーサルやレコーディング、コンサートやレッスン、曲は《ジョニー・ギター》からオフエンバックの《ペリコール》まで、舞台をフランスの村落にある屋根裏部屋から東京のライブハウスへと移しながら、独自の視点で映画にした。



『六つのバガテル』
原題: 6 Bagatelas
ポルトガル・フランス/2002年/フランス語/カラー/ビデオ/18分
共同監督: ティエリー・ルナス
出演: ジャン＝マリー・ストロフ、ダニエル・ユイレ

ストロフ＝ユイレを撮影した『あなたの微笑はどこに隠れたの?』の未使用カットからなる6つの場面によって構成された嬉遊曲。



『うさぎ狩り』
原題: The Rabbit Hunters
韓国、ポルトガル/2007年/ポルトガル語・クレオール語/カラー/ビデオ/23分
出演: アルフレッド・メンデス、ヴェントゥーラ、ジョゼ＝アルベルト・シルヴァ

『コロッサル・ユース』のヴェントゥーラが語り部を演じ、故郷という土地を巡る人間関係の過去と現在が交錯する。



『ホース・マネー』
英題: Horse Money
原題: Cavallo Dinheiro
ポルトガル/2014年/ポルトガル語・クレオール語/カラー/DCP/104分
出演: ヴェントゥーラ、ヴィタリナ・ヴァレラ、ティト・フルタド

主人公に再び『コロッサル・ユース』のヴェントゥーラを迎え、リスボンのスラム、フォンタイニャス地区で暮らした人々との映画作りは『ヴァンダの部屋』以降さらなる展開を遂げた。ヴェントゥーラ自身のカーボ・ヴェルデからの移民の体験をもとに、カーネーション革命や植民地支配からの独立などの近代史を背景に、ポルトガルに暮らすアフリカからの移民の苦難の歴史と記憶を、一人の男の人生の終焉とともに虚実入り混じった斬新な手法で描く。



『タラファル』
原題: Tarrafal
ポルトガル/2007年/ポルトガル語・クレオール語/カラー/ビデオ/16分
出演: ヴェントゥーラ、イザベル・カルドーゾ、ヴァンダ・ドゥアルテ

ポルトガルによって建設された政治犯用の強制収容所が存在した土地タラファル(カーボ・ヴェルデ)をめぐる語られる土地と家族の運命。



『ヴィタリナ』
原題: Vitalina Varela
ポルトガル/2019年/ポルトガル語・クレオール語/DCP/130分
出演: ヴィタリナ・ヴァレラ、ヴェントゥーラ、マヌエル・タヴァレス・アルメイダ、フランシスコ・プリト、マリナ・アルヴェス・ドミンゲス、ニルサ・フォルテス

一人、カーボ・ヴェルデからリスボンにやってきたヴィタリナ。彼女は出嫁ぎに行った夫がいつか自分を呼び寄せてくれると信じて待ち続けた。しかし、夫は数日前に亡くなり、すでに埋葬されていた。ヴィタリナは亡き夫の痕跡を探すかのように、移民たちが暮らす街にある、夫が住んだ部屋に留まる決意をする。そして、その部屋の暗がりて自らの波乱に満ちた人生を語り始める――。



『火の娘たち』
英題: The Daughters of Fire
原題: As Filhas do Fogo
ポルトガル/2023年/カーボ・ヴェルデ・クレオール語/カラー/DCP/8分
出演: エリザベス・ビナル、アリス・コスタ、カリーナ・ゴメス

カーボ・ヴェルデのフोग火山噴火で難散した若い三人姉妹。彼女たちは「いつの日か知るだろう、私たちがなんのために生きて、なぜ苦しむのかを」と唄う……。

ペドロ・コスタ

1959年、ポルトガル・リスボン生まれ。リスボン大学で歴史と文学を学び、映画学校では詩人・映画監督アントニオ・レイスに師事。1989年の長編デビュー作『血』がヴェネチア国際映画祭で注目を集め、その後『骨』(1997)や『ヴァンダの部屋』(2000)で国際的評価を確立。カンヌ国際映画祭や山形国際ドキュメンタリー映画祭など受賞歴多数。『ホース・マネー』(2014)でロカルノ国際映画祭最優秀監督賞を受賞。『ヴィタリナ』(2019)はロカルノで金豹賞を受賞。アントン・チェーホフの戯曲『三人姉妹』に着想を得て制作した短編ミュージカル映画『火の娘たち』(2023)は第76回カンヌ国際映画祭で特別招待作品として上映され、各国で高い評価を得ている。

企画協力: 濱治佳 (シネマトリックス)